

令和4年度（２０２２年度）熊本市中央区地域コミュニティづくり支援補助金【地域課題対応事業】						
番号	事業名	事業の内容、目的、効果等	予定事業費	申請額	採択額	審査結果
1	全世代で集える場設置事業	【内容】 ○町内の新たな集いの場の設置 ・県営団地集会所に設置（町域内に初設置） ・机、椅子、モニター、BDプレイヤー等を備える ・幅広い年代が利用できる場とする ・町内の各種イベントや会合に使用 【目的】 ○地域の豊かな人間関係を育む ○「身近に集いの場が欲しい」という住民アンケート結果に応える 【効果】 ○高齢者の健康維持 ○新たな仲間ができ張り合いが持てるようになる	280,587 円	140,000 円	140,000 円	採択
2	校区自治協議会の情報デジタル化	【内容】 ○地域のデジタル化 ・コミセンにPCを設置 ・団体の各種資料のデータ化 ・機器の住民への開放 ・自治会長対象の勉強会の開催 【目的】 ○デジタル情報の共有化による業務の効率化 【効果】 ○業務の効率化 ○引継の円滑化 ○役員のなり手不足の解消	186,776 円	93,000 円	93,000 円	採択
3	町内見守り事業	【内容】 ○高齢者のみの世帯の巡回 ・毎月第3日曜日（８：３０～１０：００）実施 ・参加者２０名程度 ○通学時間の児童生徒への挨拶（声掛け）活動 ・月曜～金曜（７：１５～８：００）実施 ・１日４人を２０人で交代して実施 【目的】 ○高齢者を明るい気持ちにする ○小中学生の事故・犯罪の抑止 【効果】 ○安全安心で明るいまちづくり	128,920 円	64,000 円	64,000 円	採択
4	校区の防災意識の向上と共助体制の強化を推進する“集い”開催事業	【内容】 ○「校区防災の集い」の開催 ・校区内の各種団体が参加（70名程度） （町内自治会、民生委員児童委員、医療介護施設等） ・講演会 最近の自然災害を振り返る（仮） ・パネルディスカッション 防災福祉をキーワードとした校区のコミュニティづくり（仮） ・意見交換会 【目的】 ○「校区防災計画書」の作成に役立てる 【効果】 ○災害発生時の共助体制の必要性や防災福祉のまちづくりへの理解が深まる ○各種団体間の連携が高まる ○自分たちのまちは自分たちで守るというコミュニティ意識の形成	101,940円	50,000 円	50,000 円	採択
5	白川河川に係る勉強会及び災害時訓練	【内容】 ○白川河川に係る勉強会及び災害時訓練の実施 ・町内の住民等が参加（１５０名程度） ・国土交通省熊本河川国道事務所と連携して実施 ・洪水についての勉強会、清掃活動、クイズ大会、炊き出し訓練等を実施 【目的】 ○洪水や地震時のスムーズな避難支援や避難誘導につなげる 【効果】 ○災害時に落ち着いて対応できるようになる ○災害時に自主参集、避難支援、連携協力がスムーズに行えるようになる ○「町内での助け合い」や「きれいなまちづくり」に貢献する	191,470 円	95,000 円	95,000 円	採択